

ファームバンキングを賢く使う

JSOL-EDI Multi-Bank接続サービスで 国内・海外の送金業務を自動化



インターネットバンキング での悩み



マニュアル対応の場合、J-SOXの観点において
人的ミスや不正リスクの可能性がある

金融機関のWebサイト毎にログインし、画面入力やファイルの
アップロード・ダウンロードをする必要があり、手間がかかる

ファームバンキングへ移行したいが
何をすればよいか分からない



自社システムでの ファームバンキング利用の悩み

接続のための回線やネットワーク機器の管理に加え
セキュリティ対応が大変

通信エラーやデータエラー発生時の対応が複雑になっている

EDI部分をアウトソースしたいが、
信頼できそうなところが見つからない



4つの
POINT



JSOL-EDIサービスにお任せください！

JSOL-EDI Multi-Bank接続サービスが解決

1

安心の接続実績

業種業界に関係なく、EDIサービスとして40年以上の実績あり
金融機関接続であれば100以上と接続実績あり

2

必要機能は標準装備 カスタマイズにも対応可

EDIのファイル伝送状況をいつでも確認できるWeb画面を標準装備、
アウトソーシングしていても、貴社自身で伝送ステータスや履歴の確認が可能です。
照合機能・結果ファイルの自動連携・画面照会など様々なご要望にもご対応できます。

3

導入から日々のご利用まで しっかり伴走

ファームバンキング利用の検討や自社システムからの乗り換えをしっかりと伴走。
事前のインタビューをもとに貴社のご利用形態に合わせてご提案します。
運用時のサポートも24h365d監視で万全。

4

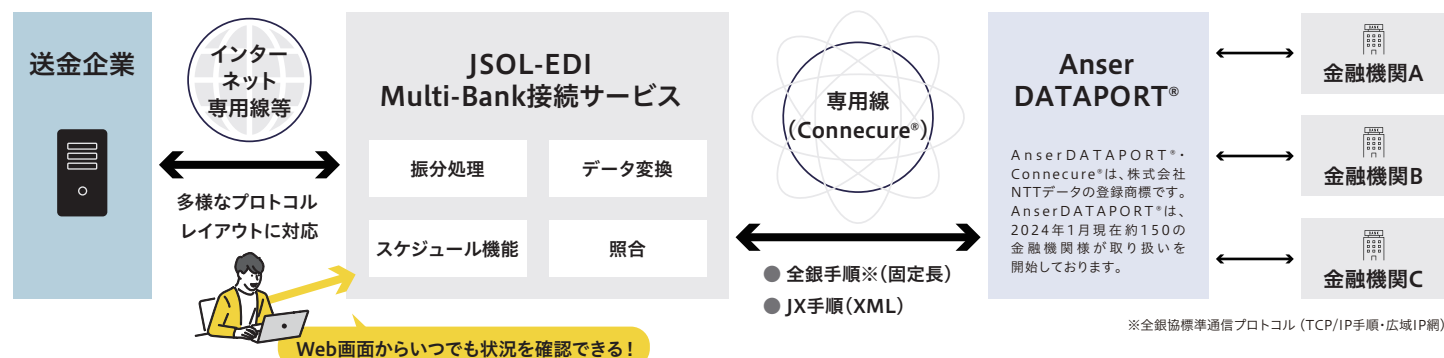
マルチバンクはもちろん 海外送金にも対応

JSOL-EDIにまとめてデータを伝送するだけで、
複数の金融機関に自動的にデータを振り分けて送信。
国内だけでなく海外送金にも対応しており、ISO20022対応も万全。

JSOL-EDI Multi-Bank接続サービスとは？

JSOL-EDI Multi-Bank接続サービスは、株式会社NTTデータが提供するAnserDATAPORT®を利用した、企業と金融機関をつなげるゲートウェイサービスです。

企業が、金融機関の「ファームバンキングサービス」を利用して口座振替、振込、入金金明細の確認などの業務を行うときには、金融機関とつながるデータ伝送環境を整備する必要があります。ところが、いざ接続を検討しようとすると、回線、フォーマット、プロトコル、通信手順、配信スケジュール、セキュリティなど考慮すべきポイントが多くあり簡単ではありません。JSOL-EDI Multi-Bank接続サービスはこの問題を解決し、企業が希望する方法でJSOL-EDIとファイル伝送をするだけで、AnserDATAPORT®を取り扱う金融機関が提供するファームバンキングサービスを利用することができるようになります。JSOL-EDIは、24h365日の運用体制で、受信したファイルに対し必要に応じて振り分け・データ変換などの処理を行い、企業や各金融機関に適合したフォーマットでスケジュール配信します。また、その状況は専用のWeb画面から企業自身でも確認することができます。他にも、照合ファイルの自動生成、伝送結果の配信、専用線の利用や企業のDRサイトへの接続など、オプションも充実しています。



導入実績

事例01. M社様

ISDNの終了を見据えて、クラウド型の「JSOL-EDIサービス」に刷新。金融業界に対する高い知見を生かしたEDIの構築、安定した稼働を期待してJSOLを選定

- 課題**
- ISDNデジタル通信モード廃止に伴い、EDIの刷新が必要に
 - オンプレミスのEDIからクラウド型のEDIに移行したいが、セキュリティも重視したい
 - グループ会社間で異なるEDIの利用方法などを統一したい

- 解決**
- JSOLのクラウド型EDIサービス、「JSOL-EDIサービス」を導入
 - ー 金融機関との日程調整など煩雑な作業を、経験豊富なJSOLの担当者が対応。迅速かつスムーズな構築を実現
 - ー これまでの環境にはなかったDR (Disaster Recovery: 災害対策) の環境をJSOLにて提供
 - ー 確かな運用体制により日々安定利用
 - ISDNに代わる金融機関接続向け閉域ネットワークとして、「JSOL-EDIサービス」にて提供するセキュアな「AnserDATAPORT® (Conneccure®)」を利用したEDI接続ソリューションを採用
 - クラウド型のJSOL-EDIサービス導入を機に、グループ会社間で異なるEDIの利用方法などを統一

- 効果**
- 期日が迫ったEDIの刷新を、滞りなく推進
 - DR環境の追加や「AnserDATAPORT® (Conneccure®)」EDI接続ソリューションの採用により、セキュリティ面を強化
 - クラウド型のJSOL-EDIサービス導入を機に、グループ会社間で異なるEDIの利用方法などを統一、業務の効率化を実現

事例02. K組合様

これまで自社で構築したシステムで金融機関との口座振替データ授受を実施していたが、JSOL-EDIサービスを利用開始。関連団体も共同利用を順次開始

- 課題**
- 自社システムの利用ができなくなることから、新たなサービスの検討が必須
 - 金融機関にデータを自動で一括送信する仕組みは維持したい
 - 全銀手順に対応したセキュアなシステムの構築が必須
 - 専用回線などのコストを抑えたい

- 解決**
- JSOL-EDIサービスを導入

- 効果**
- JSOL-EDIサービスにより、自動での一括送信の維持が可能に。従前の使い勝手そのままシステムを刷新
 - 金融機関向け閉域ネットワーク「AnserDATAPORT®」により、セキュアな接続が可能に
 - JSOL-EDIサービスの経路を1つに集約することで、コストメリットが実現
 - 将来的にJSOL-EDIサービスを利用する団体が増加することも視野に入れた仕組みを構築

お問い合わせ先 ……【株式会社JSOL】 JSOL-EDI お問い合わせ担当窓口

お問い合わせ



金融機関向け
接続はこちら



E-mail

edi-sales@s1.jsol.co.jp

今はない、答えを創る。

JSOL